

はじめに

桑の実が色づき始め、涼やかな利賀の地でもようやく夏らしい気候を感じられる今日この頃。冷たい雪解け水で翠緑に光っていた利賀川の流れは、生命を湛えて優しく透き通り、子どもたちも、釣りや水遊び三昧になるだろう楽しい夏の訪れを、あちこちに嗅ぎとっているようです。

1学期も折り返し地点を越え、利賀での生活や活動に随分と慣れてきた子どもたち。学校や受け入れ家庭、センターで過ごす中では、楽しいことだけではなく悩むことや大変なこともありますが、「悩んでいた時に支えてもらったから今度は私が支えたい」「ロッカーの整頓手伝ってもらったんだ!」と、助け合って過ごしている様子が見られます。「良い経験をしてるね」「留学生が来てくれて利賀の子も喜んでるよ」「時には悩むこともあるよね」と大らかに見守ってくださる受け入れ家庭をはじめとした地域の方のまなざしにも、支えられている毎日です。

先日 30 分ずつ行った地元家族とのオンライン面会は、「話したいことをメモしてるの」「30 分じゃ足りない!」と、ここでの体験や日々の感情を余すことなく家族に伝えたいという子どもたちの思いが垣間見える機会となりました。たくさん伝えられる夏休みを楽しみに、まずは1学期の残り 1 ヶ月も健やかに体験を重ねてほしいと願います。「川遊びもうできるんじゃない?」「たくさん歩く活動がしたいな」「竹で何か作りたい!」と、活動に対して芽生えている子どもたちの意欲も嬉しく受け取って、共に充実した日々をつくってい

松浦 実穂



《 5・6月の活動カレンダー 》

5月

28日 センター入り

29日 桜の苗木植え、山菜採り・夕食作り

30日 田植え

6月

5日 デイキャンプ

6日・7日 味噌仕込み

12日 高峰山散策

13日 魚釣り

18日 ホームステイ開始

〒939-2516 富山県南砺市利賀村坂上 18 南砺利賀みらい留学センター

TEL:0763-77-4103 FAX: 0763-77-4037

MAIL: nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp WEB: http://www.nanto-toga.com/

5/29 桜の苗木植え

センターの近くの建設会社の方が寄付してくださった桜の苗木を植えました。花を咲かせるようになるのは約 10 年後というお話を聞いて、「こんな小さな苗木が私たちの背を追い越すのかな?」「10 年後、僕たちは何をしているのかな?」と苗木を見つめながら話していました。



山菜採り・夕食作り

地域の方から採り方や調理の仕方を教わりながら、森に入って山菜を採りました。採った山菜を夕食の食材にするため、目を凝らして歩きました。初めは「全然見つけられない…」と言っていましたが、慣れてくると「夕うの芽だ!」「すす竹見つけた!」と自分たちで山菜を見つけていました。

たくさん採れた山菜を使って夕食作りを。山菜混ぜご飯、 山菜の天ぷら、初夏のスープ、わらびもちを 4 チームに分か れて作りました。「自分たちで作ったご飯だからいつもよりお いしく感じる」と話したり、「天ぷら美味しいね!」「スープ も!!」とお互いに作った料理を褒め合ったりしていました。

5/30 田植え

爽やかな晴天のもと、田植えの活動を行いました。前回の代か きの活動後、改めて機械で代かきをしてあったので、土の感触も 大きく変わっています。田の中に入った子どもたちは「すごい! 前と全然違う!」「気持ちいいかも。」と驚いている様子でした。

1 列に並んで、あらかじめ引いておいた線の交差点に苗を植えていきました。作業は1 時間半ほどで終了。今後は草取りなど、収穫に向けてみんなで力を合わせていきます。



6/5 デイキャンプ

小学生で、初めてのデイキャンプ。火を起こして、飯盒でご飯を炊きました。太さの違う枝を集め、かまどをつくり、「火を起こすぞー!」と意気込んでいましたが、「うまくつかないよ、なんで…」と頭を抱えることに。それでも諦めず、「薪集めてくるから火見てて」と役割を決め、火を絶やさないようにして、なんとかご飯を炊き上げることができました。炊けたご飯は、中学生も一緒の夕食に。「飯盒で炊いたご飯はいつもとは違ったおいしさがあるね!」と話しながら食べていました。

6/6・7 味噌仕込み

2日間かけて、味噌を仕込みました。地域や家庭による違いも大きい味噌。地域のお年寄りに教わりながら、ひとつひとつの工程を行いました。今回は、11kgの大豆を煮たものを、すり潰して塩と混ぜ、翌日、細かくほぐした米麹と合わせて樽に仕込みました。味噌すり機からすり潰された大豆が出てきた瞬間には「すごい…」と驚きの声が。「昔は各家庭で味噌を仕込んでたね」「塩をたくさん入れて長い間食べたもんだ」と教わりながら作業し、多くの学びがありました。今回仕込んだ味噌は、半年後から2年後にかけて食べられる予定です。





6/12 高峰山散策、夕食準備

センター近くの里山にハイキングへ行きました。ひたむきに歩き進めるチーム、ゆったりと遊びながら歩くチーム、林の中を進むチーム、と各々が思い思いに頂上を目指しました。「すす竹だ!」と見つけては腰の袋に収める人もいれば、「草笛できるかな」と試しながらのんびり歩く人もいて、高峰山の自然を楽しんでいました。頂上に到達すると、高台から辺りを見渡し、「富山湾見えたー!」と盛り上がっていました。

散策後、センターに戻ってからは、食事の準備でニジマスをさばきました。「どうやってさばくの?」と初めての体験に戸惑う人や「かわいそう…」と魚の命を奪うことになかなか手が進まない人もいました。さばいたニジマスはから揚げにしてもらい、夕食にいただきました。

6/13 魚釣り

2 名の講師に教わって、魚釣りをしました。仕掛けづくりでは、細い釣り糸をうまく結ぶことができず、「全然できないよ…」と嘆く姿が。おもりと目印を付けることにも苦戦しながらやっとのことで釣り竿を完成させると「早く釣りたい!」と元気が戻ってきました。釣り始めてからまもなく、「釣れたー!」という大きな声が響き渡り、「早いね!」と周りも本人も驚きの様子。釣った留学生は「やったー!釣れたよ」と嬉しそうでした。釣った魚は串焼きにして、昼食に。「おいしい!」と大喜びでした。

その後は、市内から来た小学生と一緒にピザづくり。具材を乗せ、ドラム缶で焼いて食べました。空いた時間には「だるまさんが転んだ」や「グリコ」をして交流しました



今月の畑作業

- 5月30日(日) 土寄せ・草取り・種のまき直し

この日は全員で畑に行き、それぞれの野菜の観察と、管理を行いました。カボチャやキュウリ、ジャガイモなどには「もう花が咲いてるよ」と嬉しそうな声が。野菜の成長が見えてくると作業も楽しいようで、草取りや土寄せなどの根気がいる作業や、地道な種のまき直しにも意欲的に取り組んでいました。

一 6月5日(土) 追肥・誘引・間引き

この日は小学生での作業。この日教わった誘引や追肥の作業のほか、1週間前の作業の経験を生かし、草取りや土寄せも手際よく行いました。二十日大根は間引きがてら味見を。昼食に添えて、「もう大きくなってるんだね」「おいしい!」と味わっていました。



利賀みらい留学に寄せて

(インタビューに答えていただきました!)

O. 留学生が来て感じていることを教えてください。

村も活気が出てきているし、私たちも元気を もらっています。何よりも、利賀の子どもたち が喜んでいるのが一番です。

Q. 留学生に望むことは何ですか?

楽しいことも、つらいことや苦しいことも、全てが良い経験になります。自分のためだと思って、いろんな体験を日々コツコツと積み重ねていってほしいです。



中西 邦康 さん

(南砺利賀みらい留学センター長・ 受け入れ家庭) Q. 留学生が来て感じていることを教えてください。

楽しいです。時間になると手伝いに来てくれて、料理を楽しくできているし、交流を持てるのが嬉しいです。毎日帰るときに寂しくなります…。

Q. 留学生に望むことは何ですか?

2ヶ月経って、好き嫌いが減ったり、体が大きくなったりと成長を感じています。親御さんがびっくりするぐらいさらに成長して欲しいです。自分も気力を保ち、美味しいものを提供できるようにしたいです。



《くき爺のつぶやき》



南砺利賀みらい留学 統括主幹 山本

前通信で地元の子どもたちが入園準備の手伝いでセンターに馳せ参じたことをお伝えしたが、彼らの仕事ぶりは凄かった。お手伝いさせられているのではなく、自ら積極的に参画していた。たまたまなのかと思ったが、連休明けの学校遊具設置作業でも目を見張る動きをみせてくれた。そして、5月の運動会終了後、ロンレーの森で嬉々として工具や鋸を使い、遊び場づくりに夢中になる子どもたちをみて「本物だ」と確信するとともに、子どもたちを信頼し任せる保護者さんたちの姿勢があるからこそだと気付いた。私たち指導員も見習いたい。